

2017年10月24日
大阪府議会2025年国際博覧会誘致特別委員会

2025年国際博覧会の大阪誘致 に向けた取組みについて



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

政策企画部
万博誘致推進室



World Expo 2025
Candidate

目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 国際博覧会について | 3 |
| 2. 2025年国際博覧会の立候補国について | 9 |
| 3. 誘致体制について | 13 |
| 4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について | 16 |
| (1) 海外誘致活動の取組み | 19 |
| (2) 国内機運醸成の取組み | 27 |
| 5. 誘致に向けた課題と取組みの方向性 | 40 |

1. 国際博覧会について

1-1 国際博覧会とは

- 国際博覧会条約(以下「条約」という。)に基づき、複数の国が参加して行われる博覧会のこと。
- 博覧会は、大規模な博覧会(登録博覧会)と、2つの登録博覧会の間に開催される博覧会(認定博覧会)の2種類がある。
- 条約に基づき、国際機関である博覧会国際事務局(BIE:Bureau International des Expositions 本部はパリ)が設立されている。
- 万博の目的は20世紀までは「国威発揚型」であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀からは理念提唱型とされている。

登録博と認定博

| | 登録博覧会 | 認定博覧会 |
|------|------------|---------------|
| 開催期間 | 6週間以上6か月以内 | 3週間以上3か月以内 |
| 会場規模 | 制限なし | 25ヘクタール以内 |
| 開催時期 | 5の倍数の年ごと | 2つの登録博覧会の間で1回 |

※これら2種類以外に、ミラノ(イタリア)で3年毎に開催されるトリエンナーレ及び国際園芸博覧会も条約上の国際博覧会と位置づけられている

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

- 当初は国威発揚や殖産興業であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

| 開催年 | BIE分類 | 開催国 | 名称 | テーマ |
|-----------|-----------|----------|--------------------|---|
| 1851 | | イギリス | ロンドン万国博覧会 | |
| 1853 | | アメリカ | ニューヨーク万国産業博覧会 | |
| 1855 | | フランス | パリ万国博覧会 | |
| (中略) | | | | |
| 1937 | | フランス | パリ万国博覧会 | 「現代生活の中の芸術と技術」 |
| (中略) | | | | |
| 1970 | 一般博 | 日本 | 日本万国博覧会(大阪万博) | 人類の進歩と調和 |
| 1974 | 特別博 | アメリカ | スポーケン国際環境博覧会 | 汚染なき進歩 |
| 1975-1976 | 特別博 | 日本 | 沖縄国際海洋博覧会 | 海—その望ましい未来 |
| 1982 | 特別博 | アメリカ | ノックスビル国際エネルギー博覧会 | エネルギーは世界の原動力 |
| 1984 | 特別博 | アメリカ | ニューオーリンズ国際河川博覧会 | 河の世界—水は命の源 |
| 1985 | 特別博 | 日本 | 国際科学技術博覧会(つくば博) | 人間、居住、環境と科学技術 |
| 1986 | 特別博 | カナダ | バンクーバー国際交通博覧会 | 動く世界、ふれあう世界 |
| 1988 | 特別博 | オーストラリア | ブリスベン国際レジャー博覧会 | 技術時代のレジャー |
| (1990) | (特別博・園芸博) | (日本) | (国際花と緑の博覧会) | (花と緑と人間生活のかかわりを捉え、21世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創生を目指す。) |
| 1992 | 一般博 | スペイン | セビリア万国博覧会 | 発見の時代 |
| | 特別博 | イタリア | ジェノア国際船と海の博覧会 | クリストファー・コロンブス—船と海 |
| 1993 | 特別博 | 韓国 | 大田(テジョン)国際博覧会 | 発展のための新しい道への挑戦 |
| 1998 | 特別博 | ポルトガル | リスボン国際博覧会 | 海洋—未来への遺産 |
| 2000 | 一般博 | ドイツ | ハノーバー万国博覧会 | 人間・自然・技術 |
| 2005 | 登録博 | 日本 | 2005年日本国際博覧会(愛知万博) | 自然の叡智 |
| 2008 | 認定博 | スペイン | サラゴサ国際博覧会 | 水・都市の持続可能な開発 |
| 2010 | 登録博 | 中国 | 上海国際博覧会 | より良き都市、より良き生活 |
| 2012 | 認定博 | 韓国 | 麗水(ヨス)国際博覧会 | 生きている海と息づく沿岸 |
| 2015 | 登録博 | イタリア | ミラノ国際博覧会 | 地球に食料を、生命にエネルギーを |
| 2017 | 認定博 | カザフスタン | アスタナ国際博覧会 | 未来のエネルギー |
| 2020 | 登録博 | アラブ首長国連邦 | ドバイ国際博覧会 | 心をつなぎ、未来を創る |

1-3 日本は1970年大阪万博以来、5つの国際博覧会を開催

国際博覧会の開催は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。開催地のみならず、日本を訪れる観光客が増大し、地域経済が活性化する「起爆剤」になる。

| | 1970年 | 1975年 | 1985年 | 1990年 | 2005年 |
|-------|---------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|
| 名称 | 大阪万博 | 沖縄海洋博 | つくば博 | 大阪園芸博 | 愛・地球博 |
| 区分 ※1 | 一般博 | 特別博 | 特別博 | 特別博 (園芸博) | 一般博 |
| テーマ | 人類の進歩と 調和 | 海—その望ま しい未来 | 人間・居住・環 境と科学技術 | — | 自然の叡智 |
| 来場者数 | 約6400万人 | 約350万人 | 約2000万人 | 約2300万人 | 約2200万人 |
| 参加国等 | 76か国 4国際機関 | 36か国 3国際機関 | 47か国 37国際機関 | 82か国 55国際機関 | 121か国 4国際機関 |

※1 1996年に現在の「登録博」と「認定博」に区分。それ以前は「一般博」と「特別博」に区分されていた。

1-4 博覧会国際事務局 (BIE:Bureau International des Expositions)

- 国際博覧会条約(以下「条約」という。)(1928年署名)に基づき、国際機関である博覧会国際事務局(BIE:Bureau International des Expositions)が設置されている。
- 本部はパリ。
- BIEは、博覧会主催国の選出、博覧会開催の監督を実施。
- 条約加盟国は170(2017年10月現在)。
- 総会議長はクリステンセン氏(デンマーク出身)、事務局長はロセルタレス氏(スペイン出身)。
- BIEの各国政府代表は、条約上、各国3人まで任命することができる。
- 日本政府代表は、内閣により3人(在仏日本大使館の次席公使など)が任命されている。
- 投票は1国1票である。

1-5 B I E 加盟国と万博開催地決定ルール

■ BIE加盟国

| 地域 (外務省分類) | 加盟国 数 | 加盟国一覧(2017.6現在) |
|---------------|----------|--|
| アジア(日本含む) | 18か国 | インドネシア、韓国、カンボジア、スリランカ、タイ、中国、朝鮮民主主義人民共和国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ベトナム、マレーシア、モルディブ、モンゴル、ラオス、日本 |
| 大洋州 | 11か国 | キリバス、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パラオ、フィジー、マーシャル諸島 |
| 北米 | 1か国 | 米国 |
| 中南米 | 30か国 | アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、コロンビア、スリナム、セント・クリストファー・ネイビス、セントビンセントおよびグレナディーン諸島、セントルシア、チリ、ドミニカ、ドミニカ共和国、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、パラグアイ、バルバドス、ブラジル、ベネズエラ、バレーズ、ペルー、ホンジュラス、メキシコ |
| 欧州(中央アジア含む) | 47か国 | アイスランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イタリア、ウクライナ、ウズベキスタン、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、キプロス、ギリシャ、キルギス、クロアチア、コソボ、サンマリノ、ジョージア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルクメニスタン、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベラルーシ、ベルギー、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポルトガル、マルタ、モナコ、モンテネグロ、リトアニア、ルーマニア、ロシア |
| 中東 | 14か国 | アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、ヨルダン、レバノン |
| アフリカ | 49か国 | アルジェリア、アンゴラ、ウガンダ、エジプト、エリトリア、ガーナ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、スーダン、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、南スーダン、モーリタニア、モザンビーク、モロッコ、リビア、リベリア、ルワンダ、レソト |
| 合計 | 170か国 | |

■ 開催地決定ルール

- ・ 加盟国の投票(1回1票)による。
- ・ 1か国が2/3以上の支持を集めれば開催地に決定。
- ・ 最多得票数が2/3以上の支持を獲得できない場合、最下位の国を落として投票を繰り返す。
- ・ 残り2か国になったところで、過半数の支持を集めれば開催地に決定。

2. 2025年国際博覧会の立候補国について

2-1 2025年国際博覧会の立候補国



2-1 2025年国際博覧会の立候補国

| 国名 | 都市名 | 開催期間 | テーマ | 参考 |
|--------------|--------------|------------------|--|---|
| フランス | パリ郊外 サクレ | 5月1日～ 10月31日 | 共有すべき知見、守るべき地球 (Sharing our Knowledge, Caring for our Planet) | <ul style="list-style-type: none"> ・パリは過去6回開催。前回は1937年開催。 ・パリは2024夏季オリンピック開催決定。 |
| 日本 | 夢洲（大 阪市） | 5月3日～ 11月3日 | いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives) | <ul style="list-style-type: none"> ・日本開催は2005年愛知以来。 ・大阪開催は、1990年国際花と緑の博覧会（特別博）以来。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">⇒資料2 ビッド・ドシエ参照</div> |
| ロシア | エカテリ ンブルグ | 5月2日～ 11月2日 | 世界の変革：将来世代のための イノベーションとよりよい生活 (Changing the World: Innovations and Better Life for Future Generations) | <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアは過去開催実績無し。 ・エカテリンブルグはスヴェルドロフスク州の州都でウラル地域の工業・文化の中心。人口約140万人 ・エカテリンブルグは2020年万博に立候補したが決戦投票でドバイに敗れる。 |
| アゼルバ イジャン | バクー | 5月10日～ 11月10日 | 人的資本の発展、よりよい未来 の構築 (Developing human capital, building a better future) | <ul style="list-style-type: none"> ・アゼルバイジャンは過去開催実績無し。 ・バクーはアゼルバイジャン共和国の首都で人口約200万人。 ・バクーは2020夏季オリンピックに立候補したが敗れる。 |

資料：BIEホームページ、地誌情報等をもとに、万博誘致推進室で作成。

2-2 2025年国際博覧会の決定までのスケジュール

| 時期 | 内容 |
|--------------------|--|
| 2017年9月25日 | BIE事務局へ開催申請文書(ビッド・ドシエ)提出 |
| 2017年11月15日 | BIE総会(第2回プレゼンテーション) |
| 2018年1~3月頃 (予定) | BIE調査団の来日 ※BIE調査団は、立候補国を順次訪問予定 |
| 2018年6月 | BIE総会(調査団報告書をもとに、執行委員会が各立候補国を次回11月総会における投票に進めさせてよいか否かについて勧告を出し、総会において採決。第3回プレゼンテーション。) |
| 2018年11月 | BIE総会(最終プレゼンテーション後、投票で開催国を決定) |

3. 誘致体制について

3-1 2025日本万国博覧会誘致委員会

- 誘致委員会とは・・・誘致活動を推進する官民連携の全国(オールジャパン)組織
(会長)榊原経団連会長
(設立)2017年3月27日
(会員)設立当初、55企業・団体、60行政機関、山中教授など27名(※当初)

《主な活動》

① BIE総会でのプレゼンテーション

加盟国に対するロビー活動

- ・ BIE総会でのプレゼンで大阪・関西の魅力をアピール
- ・ あらゆる機会を捉えた海外プロモーション活動

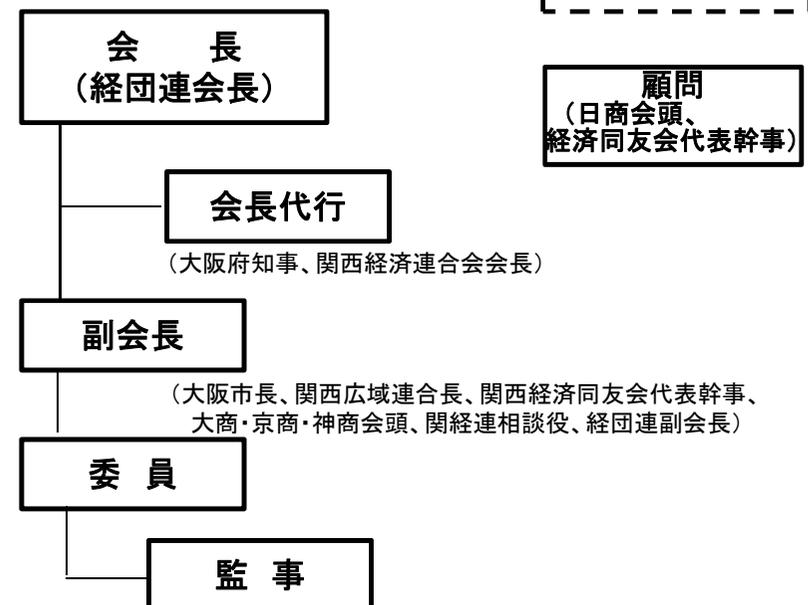
② 国内の誘致機運醸成

- ・ 著名人による情報発信
- ・ HPやSNS等の活用
- ・ 万博誘致ロゴマークを用いたPR
- ・ 誘致アンバサダー
- ・ 各種イベント

③ BIE事務局・加盟国の視察のアテンド

- ・ BIE事務局や影響力のある加盟国の視察団をアテンド
- ・ 好印象を与える雰囲気作りの演出(シティドレッシングなど)

《組織体制》



3-2 国等との役割分担

<役割分担の考え方>

① 国（外務省・経済産業省をはじめとする関係省庁）、誘致委員会（自治体、経済界）が一体となって誘致活動を展開

・国、自治体、経済界がそれぞれの役割や強みを活かし、三位一体で効果的に支持要請を行う。

（役割分担例）

国……………【国を代表する立場】

日本での万博開催意義・内容、開催コンセプトを各国に伝え、支持拡大を目指す

自治体…【地元開催地を代表する立場】

大阪・関西での万博開催意義、地域の魅力をアピール、ホストシティとしての熱意を示す

経済界…【民間での活動を代表する立場】

今回の万博のテーマに基づく課題解決のための具体的技術支援の提示、民間の有する様々なチャンネルを通じたプロモーション活動を行う

② 協力していただけるセクターとは積極的に連携し、効果的にプロモーション活動を進める

・国際的な活動を行う財団や協会、N G Oに加えて誘致に前向きな自治体、議会など、さまざまな団体と積極的に連携し、あらゆる角度からB I E加盟国に対して、働きかけを行う。

4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

「2025日本万国博覧会誘致戦略」（平成29年9月 誘致委員会において策定）

- 誘致活動を取り巻く状況を踏まえて、「海外誘致」と「国内機運醸成」について、今後取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に推進する。

誘致活動の基本方針

① 海外誘致活動

- BIE加盟国のうち、より多くの国が日本、大阪・関西を支持してくれることを目指す。そのため、国と連携しつつ、自治体、経済界などがもつ、あらゆるチャンネルを活かすとともに、国際会議などの機会を効果的に活用し、万博開催テーマの意義や、日本、大阪・関西の魅力について、理解を求め、支持を働きかける。

② 国内機運醸成

- 日本が立候補4か国の中で、最も国内機運が醸成されていることを目指し、できるだけ数値等で国内外に示す。
⇒他国を圧倒する機運醸成に向け、自治体、経済界の主体的な取組みを広げ、会員数や賛意を示す人々を増やす。これを数値等で明示し、BIE総会、誘致委員会HP等でアピール。
⇒2018年1～3月のBIE現地調査において、国内、地元機運の高まりを調査団が体感できるように取り組む。

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

今後の取り組むべき方向性

この間の誘致活動を取り巻く状況をふまえ、誘致委員会では今後の取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に進めていく。

① 海外誘致活動

- 4か国による誘致競争を勝ち抜くため、まずは、**BIE加盟国**に対し、**全方位的**にあらゆる外交ルート・国際会議等の機会を通じて、日本、大阪・関西のPRを実施。
- 万博に向けて生み出される新技術等の発信を通じて、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向け貢献していくこともアピール。
- **国、経済界、自治体が三位一体**となり、国による外交交渉のほか、議員、自治体、企業、団体等と協力し、様々なルートを活用しながらプロモーション活動に取り組む。各国の反応をふまえ、各国毎にきめ細かい働きかけを行っていく。

② 国内機運醸成

- 地元大阪・関西から機運醸成の取組みを率先して進め、ひいては日本全体での機運を高めていく。**2018年1月～3月のBIE現地調査**に向け、自治体、企業等と連携し、**誘致委員会会員数の上積み**や**各自治体での決議**をはじめとする国内機運醸成の取組みを展開する。
- **各主体による自発的な取組みを基本**とし、誘致委員会は各主体の取組みを促す**環境づくり**など重点的に取り組む。
- 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」づくりの取組み等を共有することで、国内各界各層に**万博の意義等の浸透を図るとともに、期待感の向上**に取り組む。

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆BIEへの立候補申請、総会の機会を捉え、BIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

【B I Eへの立候補申請・B I E総会】

（i）立候補申請（4/24）の機会を捉えたプロモーション活動

プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官
（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行 他

（ii）総会（6/14）の機会を捉えたプロモーション活動

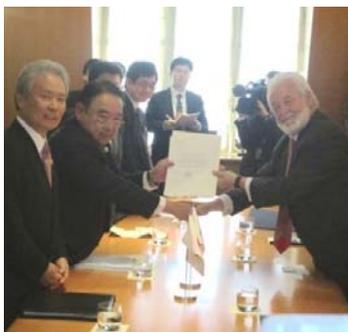
プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官
（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行、松本 会長代行、吉村 副会長 他

○各国在仏大使等に対する万博誘致の働きかけ（約30カ国）

○総会でのプレゼンテーションの実施

・誘致を目指す2025日本万国博覧会のコンセプトをPR（榊原会長）

・開催候補地である大阪・関西の魅力やポテンシャルをPR（松井会長代行）



4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆2017年カザフスタン アスタナで開催の国際博覧会（認定博）の開会式、ジャパンデー、閉会式等においてBIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

【アスタナ国際博覧会】

（i）開会式（6/9）及び日本館開館式（6/10）等におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使、小瀬 経済産業省大臣官房審議官
（誘致委員会）吉村 副会長、尾崎 副会長 他

- 開会式において、プロモーション団から各国要人に対し、万博誘致を働きかけ
- 日本館開館式典において、万博誘致をPR
- 開会式に出席した10数か国のBIE政府代表者等に対し、万博誘致を働きかけ

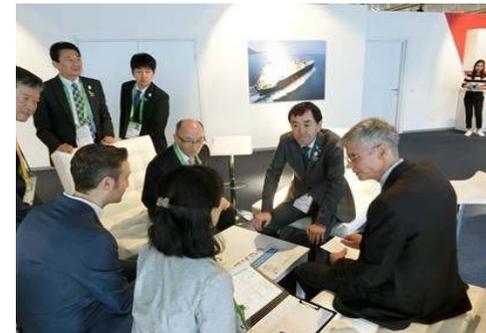


4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

【アスタナ国際博覧会】（ii）カリブデー（7/14）等におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使（自治体）新井 大阪府副知事
（誘致委員会）鈴木 副会長、櫛（いちのき） 事務総長 他

- 7月14日のアスタナ博「カリブデー」にあわせ、政府要人等が会場を訪れる機会を捉えた、万博誘致の働きかけ
- 約10か国のパビリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ



4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

【アスタナ国際博覧会】（iii）ジャパンデー（7/22）等におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）世耕 経済産業大臣、川端 駐カザフスタン大使
（誘致委員会）松井 会長代行、松本 会長代行 他

- 7月22日のアスタナ博「ジャパンデー」の開会式典、大阪パレード及びレセプションに出席し、万博誘致をPR
- 約10か国のパビリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ
- カザフスタン政府を表敬訪問

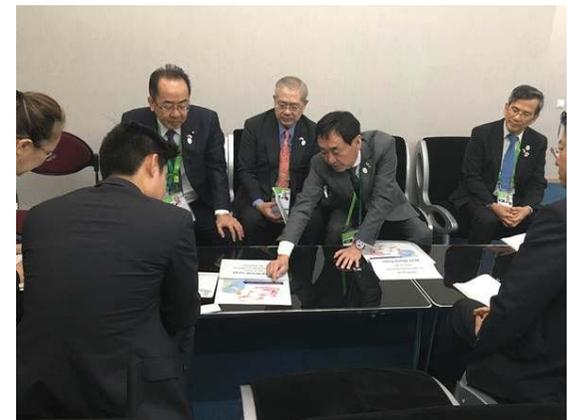


4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

【アスタナ国際博覧会】（iv）閉会式（9/10）におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）西銘 経済産業副大臣、川端 駐カザフスタン大使 他
（自治体）新井 大阪府副知事
（経済界）西村 大阪商工会議所副会頭
植松 関西経済連合会国際委員会副委員長
（誘致委員会）櫛 事務総長

- 9月10日アスタナ博閉会式典の機会を捉え、万博誘致をPR
- 約10か国のパビリオンを訪問、万博誘致を働きかけ



4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆TICAD(アフリカ開発会議)において、国、経済界、誘致委員会が一体となって、二か国会議、イベントを通じて働きかけ

【TICAD（アフリカ開発会議 8/24）】

プロモーション団：（国）河野 外務大臣、堀井 外務政務官、池上 外務省経済局政策課長
（経済界）鴻池 大阪商工会議所常議員（アフリカ協会副会長）、遠藤 住友電装執行役員
（誘致委員会）吉村 副会長 他

○二か国会談における働きかけ、TICAD閣僚会合サイドイベントで吉村副会長がプレゼンテーション

【南アフリカにおける誘致活動(8/25)】

プロモーション団：（国）池上 外務省経済局政策課長
（経済界）鴻池 大阪商工会議所常議員（アフリカ協会副会長）、遠藤 住友電装執行役員
（誘致委員会）吉村 副会長

○政府関係者、関係国の大使等に万博誘致を働きかけ



4-2 海外誘致活動 (② 他国の政府要人の訪日機会を捉えたPR)

◆ASEAN経済大臣会合など、他国政府要人の訪日機会を捉えて、万博誘致を働きかけ

【ASEAN経済大臣会合（歓迎昼食会 4/8）】

出席者：（国）世耕 経済産業大臣 （経済界）西村 大阪商工会議所副会頭
（誘致委員会）松井 会長代行、森 会長代行、吉村 副会長、蔭山 副会長 他

○歓迎昼食会において、アジアで開催する万博の意義など、万博誘致を働きかけ



4-2 海外誘致活動 (③ その他主体での取組み)

◆政府、国会議員連盟等の活動に加えて、自治体等による友好交流都市や、地方議会による友好議員連盟等の議員外交により、万博誘致を推進

【その他主体での取組み】

- 政府：様々な外交ルートを活用した各国への万博誘致の働きかけ
 - ・政務レベルでの各国政府要人への支持要請や、在外公館から先方政府への働きかけ
 - ・各国BIE政府代表への働きかけ
 - ・在京大使館への働きかけ（外務省幹部から在京大使等への働きかけ）
 - ・日本に招聘した海外記者への万博開催テーマの意義等を説明・PR
- 国会議員連盟等：二国間友好議連等をはじめ議員外交の活用
 - ・国会議員の外遊時の万博誘致の働きかけ
 - ・二国間議連等による大使館に対する万博誘致の働きかけ（6～9月）
- 自治体等：友好交流都市及び姉妹都市、ビジネスパートナー都市等へのプロモーション
 - ・駐日大使等の表敬訪問時の働きかけ
 - ・在関西領事館、国際交流関連協会への働きかけ
- 地方議会：大阪府議会友好議連をはじめとする議員外交の活用
 - ・海外からの表敬訪問時（上海人民代表大会常務委員会 など）
 - ・海外への友好訪問時
（関西府県議会日中友好訪問団、自民党大阪府議団のカンボジア・イギリス・フランス訪問 など）

4-3 国内機運醸成 (①誘致委員会による取組)

◆2017年3月27日の誘致委員会発足後、誘致活動のベースとなる取組み（ロゴマークによるPR、会員等賛同者の募集、グッズ等の配布、イベント等を実施）

- ・誘致委員会発足式典（誘致アンバサダー「ダウタウン」による情報発信:3/27）
- ・誘致委員会HPの開設（日英仏語対応：4/21）
- ・万博誘致ロゴマークの選定（6/7）、
- ・グッズの作成・配布・掲揚・販売（ピンバッジ、ポスター、チラシ、懸垂幕、のぼり、ポロシャツ等）
- ・誘致委員会会員等賛同者の募集：
- ・小学生を対象とした万博絵画展の公募（7/6～9/30）
- ・誘致アンバサダーに、歌舞伎俳優の中村鴈治郎さん・片岡愛之助さんが就任（9/5）



誘致委員会HP

4-3 国内機運醸成 (②大阪府万博誘致推進本部における取組み)

- ◆ 本年4月、知事を本部長とする「大阪府万博誘致推進本部」を設置
機運醸成に取り組むとともに、万博のテーマを先取りしたビジョンの本年度策定などを推進
- ◆ 今月、推進本部において、誘致委員会の戦略を踏まえた大阪府の取組み方針を策定
府の総力をあげて、機運醸成のための取組みを展開していくことを決定

* BIE現地調査（来年1～3月）に向けて、調査ルートなどを踏まえたシティドレッシングなどにも取組み、地元大阪の盛り上がりと万博に向けた熱意をしっかりとアピールしていく。

【今後の大阪府としての取組み方針】

平成29年9月決定

- 府はホストシティとして、誘致委員会の中核的な役割を果たし、地元の熱意や開催意義を国内外に波及させていく。
そのため、府は、関西広域連合や市町村とも連携しながら、関係部局の総力をあげた誘致活動を展開していく。
- 今後、府は、各主体の取組みを促す環境づくりに取組み
誘致委員会と連携し、関係部局がそれぞれの創意工夫を凝らし、
様々な機会を通じて、自発的な取組みを展開していく。



■ 大阪府万博誘致推進本部（平成29年4月設置）

▶ 「大阪から『いのち輝く未来社会』をめざすビジョン」を本年度策定予定

今後の具体的な機運醸成の取組み

- ▶ 地元大阪における機運醸成に、創意工夫をこらして取組み、府民へアピールするとともに、関係団体へ働きかける。
- ▶ 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」づくりの取組み等を大阪から発信することで、各界各層に万博の意義等の浸透を図るとともに、誘致に向けた機運を醸成する。

<取組み例>

「万博誘致」そのものを広く周知するためのPR活動

- ・ロゴマーク等を活用した万博誘致活動の推進
- ※誘致委員会が提供する基本的な素材を活用した創意工夫によるPRツールの作成・発信、誘致委員会会員登録の呼びかけ
(各部局のポスター、印刷物、SNS、イベント、関連行事等の活用) など

万博の意義の理解促進、

万博に向けた取組みに参画を促すための活動

- ・セミナー等の様々な機会を通じて、各界各層に万博の意義等を浸透
- ・大阪から「いのち輝く未来社会」をめざすビジョンの具体化 など

BIEによる現地調査への対応

- ・シティドレッシング、街中での誘致機運を露出（ポスター、懸垂幕、バナー配置等）
- ・様々な手段により誘致機運を発信（万博絵画展応募作品の効果的な展示等）など

4-3 国内機運醸成 (③大阪府議会における誘致活動の展開)

- ◆ 「大阪府議会における万博誘致活動の指針」を策定（平成29年7月）
⇒大阪府議会では、大阪府、誘致委員会等との密接な連携と役割分担のもと、ネットワークを最大限に生かしながら、機運の醸成や関係国への働きかけなど、誘致実現に貢献できる活動を展開中

主な広報活動

- ◆ 高校生向け出前授業において「万博」の取組みについて紹介、意見交換の実施
- ◆ テレビ広報、府議会だより（広報紙）、ホームページ・SNSで、「万博誘致活動」の取組みを紹介
- ◆ ポスターで「万博」をPR（万博誘致ロゴを掲載） など



全国都道府県議会等への万博誘致実現に向けた支援の要請

- ◆ 全国都道府県議会議長会定例総会で「『2025日本万国博覧会』の大阪・関西誘致に関する決議」が議決（平成29年7月25日）
 - ◆ 関西広域連合議会において「2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議」が議決（平成29年8月24日）
- ⇒13都道府県議会議長会議（平成29年4月26日）、近畿2府8県議会議長会議（平成29年8月30日）において、大阪府議会議長が、各府県議会における決議をはじめ、万博誘致実現に向けた支援を要請

4-3 国内機運醸成 (④万博誘致に向けた決議の広がり)

- ◆ 大阪府議会、大阪市会をはじめとする府内34市町村議会で、「2025年万博の大阪誘致に積極的に取り組む」旨を決議
- ◆ 関西広域連合、関西広域連合議会をはじめ、全国知事会、全国都道府県議長会などにおける決議もいただき、今後、大阪・関西から全国へと拡大に向けて取り組んでいく

大阪府・大阪市・市町村

- ・平成28年11月 4日 大阪府議会 決議
 - ＜府内市町村＞
 - ・平成28年11月15日 大阪市会 決議
 - ・平成29年5月 9日 大阪府市長会 決議
5月16日 大阪府町村長会決議
 - ・平成29年 3月30日～9月29日
堺市議会 他 32市町村議会決議
 - ・平成29年10月2日 大阪府町村議長会
- 大阪府議会・34市町村議会で決議

関西広域連合

- ・平成28年9月 22日 関西広域連合 決議
- ・平成29年8月 24日 関西広域連合議会決議
- ・平成29年9月28日 和歌山県議会
- ・平成29年9月28日 福井県議会
- ・平成29年10月5日 神戸市会
- ・平成29年10月6日 徳島県議会
- ・平成29年10月11日 鳥取県議会
- ・平成29年10月20日 奈良県議会

自治体・議会の連合会等による決議

- 平成29年 5月18日 近畿市長会
- 7月11日 指定都市市長会
- 7月25日 全国都道府県議長会
- 7月28日 全国知事会
- 8月 4日 兵庫県町村会
- 9月20日 近畿府県町村会

4-3 国内機運醸成 (⑤関西広域連合における取組)

- ◆平成28年9月、関西広域連合において、「2025年日本における国際博覧会（大阪開催）について」決議
- ◆本年4月、関西広域連合において、構成府県市、誘致委員会事務局、関西観光本部事務局で構成する「2025日本万国博覧会誘致対策会議」を設置
- ◆構成府県市の広報媒体を用いたPRなど、国内機運醸成の活動を実施中
- ◆8月、関西広域連合議会が、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議」を議決

主な国内機運醸成の活動

- (1) 万博誘致ロゴマークを活用したPR
 - 万博のテーマに関連した集客イベント等でのPR
 - 庁舎等でのチラシ・パンフの配布、ポスター掲出
- (2) 構成府県市の広報誌等の媒体を用いた周知
 - 構成府県市のPRツールの活用
 - 刊行物等へのロゴマーク掲載など
- (3) 構成府県市における誘致委員会会員拡大への協力呼びかけ
 - 構成府県市内の市町村、商工会連合会、地元商工会議所等の経済団体を中心に参加を呼びかけ
- (4) 構成府県市議会における万博誘致応援決議への協力要請

など



4-3 国内機運醸成

(⑥全国都道府県への協力要請・首都圏におけるプロモーション活動)

- ◆本年4月開催の2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会（全国都道府県東京事務所長出席）、6月開催の全国東京事務所長会総会等において、全国都道府県がもつ広報ツールやイベント等を活用した国内機運醸成の取組みを要請
- ◆7月、全国知事会議において、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」採択
- ◆8月、知事会決議を受けて、全都道府県へ誘致委員会参画及び協力を依頼

主な国内機運醸成の活動

全国的な機運醸成に先駆けて、首都圏における万博誘致PRを実施

- (1) 近畿10府県と在阪鉄道6社が共催する「関西魅力発信イベント」において、万博誘致を強かにPR（9月23日）
このほか、東京スカイツリーにおける情報発信（1～3月）などを予定
- (2) 各都道府県実施の首都圏イベントにおける情報発信 など

4-3 国内機運醸成 (⑦民間等の取組み)

◆民間等において、自社ツールを活用した鉄道駅等におけるPRや、民間主体のイベント等におけるPRが展開。

<自社ツールを活用したPR>

銀行ATM画面での誘致PR、主要駅・空港でのPRポスター等掲示、工事囲いを活用した誘致PR

<イベント等でのPR>

天神祭、梅田ゆかた祭り、道頓堀盆踊り大会、甲子園球場等でのビジョンでのPR動画放映
2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会及び万博誘致セミナー

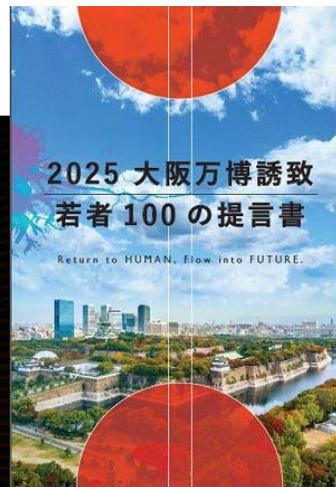


4-3 国内機運醸成 (⑧学生による取組み)

◆大学生を中心とした、ヘルスケアの課題に取り組む「inochi (いのち) 学生プロジェクト」による「2025大阪万博誘致100の提言」の発表や、若者による万博検討会議の「WAKAZO (ワカゾー)」など、万博に賛同する学生による自主的な取組みが進んでいる。



2016.12 inochi学生プロジェクトからの提案



2017.6 WAKAZOの取組み

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

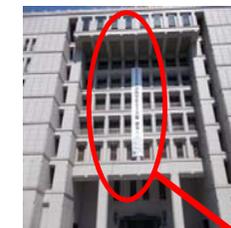
～大阪府・府内市町村～



■ マチミラOSAKA 2017
～万博誘致に向けて対談～
(協力:大阪青年会議所)



■ 懸垂幕(東大阪市役所)



■ 懸垂幕
(大阪市役所)



■ 街頭バナー
(御堂筋)



■ 誘致ロゴマーク入りポロシャツの製作



■ 住民向け広報紙で記事掲載
(千早赤阪村)



■ 個人事業税納税通知封筒への
誘致ロゴマーク掲載

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

■大阪まるかじりフェア (東京)



■おもてなし大阪魅力PR事業 ロゴマーク掲載うちわ



■中秋明月祭(大阪)



■お台場みんなの夢大陸2017 大阪観光PRステージイベント

■各種イベントでのPR、パネル・ポスター掲示



中小企業向け助成金活用セミナー



建築材料・住宅設備総合展2017



私立学校展



■教育ハンドブックへ誘致ロゴマーク掲載

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市～



本庁舎正面受付装飾



地下鉄駅デジタルサイネージ



水辺のまちあそびバナー
(水都大阪)



地下鉄駅ポスター



職員缶バッジ

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市24区役所～



各区の区民まつり



区役所広報紙 例

わたしと万博 母が出展に関わっていました

母がカスパリー編み(かぎ針による連続モチーフ編み)を習っていて、生活産業館で作品を展示するのに関わっていたことから、当時大学生だった私は、母を車に乗せて、オープン前から何度も会場に足を運んでいました。残念ながら、展示の写真はないのですが、作品は巨大で、会場に吊り下げて展示していたことを覚えています。

閉幕後も、東京から来た友人を案内するなど、何度か行きました。会場では、コンパニオンをしていた大学の同級生も見かけました。それにしても、あの展示していた大作は、今どうなっているんでしょうね。90歳を超えた母は今も元気で、カスパリー編みを教えています。

生活産業館をバックに、カスパリー編みのショールを羽織った母

天神橋筋商店会 理事長 田中 誠一さん

毎月主な内容

- 万博の最新情報

あべの 9 2017年 第256号 月号

【特別許諾にご注意】の取扱いに必ずお読みください



青パト ステッカー



パネル展示

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市×民間～



梅田ゆかた祭

(協力：梅田地区エリアマネジメント実践連絡会)



道頓堀万灯祭 (協力：いっとこナミ実行委員会)



梅田地区エリアマネジメント
実践連絡会・表敬訪問



工事用仮囲いへのロゴマーク掲載
(協力：阪神電気鉄道株式会社)

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致活動の現時点の到達点

■海外誘致活動

- ⇒BIE訪問、アスタナ万博・国際会議の場、在京大使館訪問など各国に対しプロモーション実施
- ⇒大阪・関西・日本における万博開催の意義、大阪・関西の魅力を周知・PR
 - ・BIE訪問:総会でのプレゼンテーション、各国駐仏大使等に対する働きかけ(約30カ国)
 - ・アスタナ国際博覧会:各国のパビリオン等を訪問し、誘致を働きかけ
 - ・TICADアフリカ開発会議(アフリカ51か国が参加):プレゼンテーション実施、二国間会談における働きかけ
 - ・全在京大使館への訪問 等

■国内機運醸成

①誘致委員会会員数

| | 委員会発足時 (3月27日) | 現状 (10月13日時点) |
|------------|-------------------|------------------|
| 個人会員 | 27名 | 114,753名 |
| 企業・団体等会員 | 115社 | 3,649社 |
| 内)スポンサー企業等 | 44社 | 98社 |

②自治体の決議(10月15日現在)

- ・大阪府議会・市町村議会:35団体
- ・関西広域連合構成団体:8団体
- ・自治体・議会の連合会等:6団体 計 49団体

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致に向けた課題と取組みの方向性

① 海外誘致活動

- BIE加盟国の少なくとも過半数の支持を獲得するため、引き続き、全方位的な誘致活動を展開する必要。
- 各国の反応をふまえつつ、国、自治体、経済界等の様々なルートを活用した働きかけを行う。

② 国内機運醸成

- 誘致を勝ち取る圧倒的な機運醸成を示すためには、さらなる取組みが必要。企業・自治体や団体などあらゆる主体による一層の取組みを促進する。
- 首都圏はじめ内外への知名度向上のため、情報発信力のある著名人の協力を得たPR活動を展開する。

③ BIE現地調査の受け入れ（2018年1～3月予定）

- 大阪・関西が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博開催に相応しいポテンシャルを有する都市であることをアピール。
- 機運の高まりを調査団が体感できるよう、受け入れ準備をさらに強力に展開する。
- 賛同者数、自治体決議などの数を増やし、これを数値で明示するとともに、あらゆる主体によるシティドレッシングなどを通じ、まち全体に機運醸成を浸透させる。



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025



World Expo 2025
Candidate